RAINFOREST ALLIANCE

レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムとは？

生物多様性の保全

写真 David Dudenhoefer

農業を解決策の一つに

レインフォレスト・アライアンスは人と自然が調和し繁栄する世界を目指しています。生物多様性・生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォームの2019年報告書によると、生物多様性の損失を減少させるための対策が講じられない限り数十年以内に100万種の生物が絶滅の危機に瀕することになると推定されているため、当団体が掲げるビジョンはこれまで以上に重要です。生物のこの破壊的な損失の主な原因は人間による活動、特に農業です。 世界自然保護基金は （WWF）は、生息地の劣化と損失が、汚染、気候変動、または搾取以上に、世界中の種の絶滅の主な要因であると推定しています。

農業は生物多様性に悪影響を及ぼす要因である一方、自然の生息地を生産体系に組み込んだり土壌中の生命を保護したりすることで、プラスの影響をもたらすこともできます。こういった対策により農場が気候変動の影響によりうまく対処できるようになり、生産者にとっても生計をより一層確保するのに役立ちます。このような理由から、生物多様性保全はレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの主な目標の一つとなっています。

新基準のアプローチ

新基準においては、生物多様性を農業と環境保護のあらゆる側面の基本原則にすることを目的としています。このため、生物多様性保全は新しいレインフォレスト・アライアンス持続可能な農業のための基準全体に組み込まれています。管理、農業、環境に関する章のいくつかの基準項目は、農業による生物多様性への悪影響の防止とプラスの影響の促進の両方を目的としています。

既存の自然生態系地区の保全がこのミッションの鍵となります。2014年以降、自然生態系の転換を許可しないことに加え、新基準では高保全価値（High Conservation Value/HCV）地区を対象とした追加保護策を設けています。HCV地区は、生物学的、生態学的、社会的そして文化的に極めて重要な地区です。新プログラムにおいては、リスクベースのアプローチに基づき、農業のリスクレベルに応じて適切な措置を講じる必要のある場所としてHCVを特定します。例えば、レインフォレスト・アライアンス認証農園が重要生物多様性地区（Key Biodiversity Area/KBA）の中または近くにあると確認された場合、該当するKBA における重要な動植物の保全を目的とする具体的な対策が必要となります。

新基準における要件の多くは、生物多様性に対する生産活動のプラスの影響を最大限に高め、悪影響を最小限に抑えることを目的としています：

- アグロフォレストリー（農作物の脇に既存の木を育て、新しい木を植えるという手法）のような慣行を通じて自然植生の多様性を維持・増強させ、野生動物のために通り道を作る。
- 総合的病害虫管理を実施し、農場で栽培する農作物や植物の種類を多様化させ、機能的な多様性（花粉媒介者や害虫の天敵）を助ける対策を取る。
- 狩猟を禁止し、外来侵入種の拡大を最小限に抑え、人間と野生動物間の接触を最小限にすう対策により、絶滅危惧種やその他の在来動植物の保全を支援。
- 土壌の浸食制御や土壌有機物を増やすなどの方法によって土壌の健全性を改善し、農業による悪影響を最小限に抑える。

認証の再構築の一環として、データを活用し上記の基準項目遵守を強化します。衛星画像を使い森林伐採を確認したり、生産者が収集したデータにより自然植生の被覆率を評価することが可能になります。また、合否判定のみに焦点を当てるのではなく継続的な改善を奨励する取組みとして、生産者は認証保有農場プロフィールを通じて顧客やパートナーに進捗状況や結果を共有することができます。

従来の基準との違いは？

UTZ の農園管理基準と2017レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準においても生物多様性の保全や保護を目的としていましたが、新基準では、新たなリスクベースのアプローチを取り入れることによりこれを強化しました。HCV リーソース・ネットワークと協力し、HCV地区に対する農場の影響を定義するためにリス

写真 Sergio Izquierdo

写真 David Dudenhoefer

写真 Kalyan Varma

写真レインフォレスト・アライアンスの職員

写真 Mohsin Kazmi

クに関する質問リストを作成しました。同リストは新基準第1章の全体リスク評価に含まれています。さらに、UTZ の農園管理基準では、最小自然植生、河畔緩衝帯に関する指標（水生辺生態系に隣接する植生）およびその他に関する要件でも違いがあります。

特定の農作物や国にのみ関係するのか

生物多様性の保全や増進は、特に重要生物多様性地区において国際的な課題です。あらゆる状況下において生物多様性保全の対策を取ることで、農場は気候変動の影響に対する回復力を高めることが出来、生産者はより良い生計を確保できるようになります。コーヒーやココアなどの耐陰性作物は特にアグロフォレストリーと適合するため、生物多様性の強力な潜在的推進力です。

詳細について

新しい認証プログラムにおいて期待されることについて．、詳しくはこちらをご覧ください。具体的なご質問は **cs@ra.org**までご連絡ください。

認証の再構築と2020認証プログラムについて

認証の再構築は、私たちの将来の認証制度に対する長期的な展望です。そして、レインフォレスト・アライアンスの4つの主要な活動領域を通じて変化を起こす為の、より広範囲におよぶ戦略の一部なのです。

2020年6、私たちはレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの発表と共にその認証の再構築に向けた道のりの第一歩を踏み出します。レインフォレスト・アライアンスとUTZが合併した2018年より、この新しい認証プログラムについて取り組んできました。

2020持続可能な農業基準を含む2020認証プログラムは、認証が作用の仕方そして認証を利用する世界中の人々と企業に価値を提供する方法に真の変化を起こす、またとない好機です。

2020年6月から2021年中旬にかけて、レインフォレスト・アライアンスは世界中で包括的な研修計画を含む新しい認証プログラムを本格的に展開していきます。新しい認証システムに対する審査は2021年中旬より開始予定となります。

RAINFOREST ALLIANCE

アメリカ:
125 Broad Street, 9th Floor
New York, NY 10004
tel: +1 (212) 677-1900
email: info@ra.org

オランダ:
De Ruyterkade 6
1013 AA, Amsterdam
tel: +31 20 530 8000
email: info@utz.org

Rainforest Alliance
@RnfrstAlliance
@rainforestalliance

RAINFOREST-ALLIANCE.ORG